

なすからすやま 社協だより

11月
No.157

認知症の人も“^{とも}伴”に暮らす社会を目指して



市長も応援にかけつけて盛り上がったスタート

RUN伴^{とも}チームなすから市内で初開催

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域住民と認知症の人や家族、関係者等と一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベント「RUN伴」が、9月22日、本市でも初めて開催された。

本市では、1月から医療福祉関係者や市民活動グループのメンバーが中心となって準備を進めてきた。

当日は、認知症の人やその家族、ボランティアも含め約200人が参加した。JR烏山駅前広場をスタート・ゴールとし、認知症に関するクイズをしながら歩くスタンラリー形式で実施。参加者メッセージを記したタスキと烏山高校美術部員が作成したキャラクター「ランクローウ」を描いた横断幕を掲げて市内を歩いた。ゴール後には、オレンジフェスとして模擬店や子どもたちのダンス、消防署職員からのメッセージが発表され、認知症に関する情報や交流を深める機会となった。

発起人としてチームなすから代表を務めた、訪問看護士テーションあいの横山孝子さんは「たくさんの協賛を頂き初開催ができ感謝していません。参加した認知症当事者の方が、久しぶりにたくさんの方と外を歩いて楽しかったと笑顔をみせていたことがうれしかったです。市民が少しずつ思いを寄せ合って、認知症になっても安心して暮らせるまちになっていくことを願っています」と今後への思いを話した。

また、オレンジフェスの担当をした、NPO法人野うさぎくらぶの矢口和美さんは「横山さんから熱心に認知症の話しを伺い、参加しました。まずは認知症を知ることが大切で、その過程でいろいろな人や団体同士がつながっていきと思えます」と話していた。



みんなで一緒にゴール

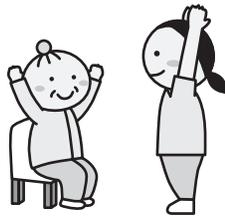
※詳細情報はRUN伴旗本フェイスブックをご覧ください。

なすから元気サポーター講座



健康体操

手伝いをする「サポーター」、掃除や洗濯、食事の準備等を行う「いきいきホームヘルパー」、ちよっとした困り事をお手伝いするボランティア「助っ人からす」への登録・活動など、介護予防や助け合い活動を推進する担い手となって、今後、地域で活動していただく。



ボランティアセンター運営委員会

10月9日、ボランティアセンター運営委員会が開催された。

委員会は、年に2回開催しボランティア活動実践者・NPO・市民団体・民間企業・行政関係者の代表者15人で組織され、ボランティア活動の充実に向けて意見交換を行っている。

9月～11月にかけて、市と社会福祉協議会では「なすから元気サポーター講座」を開催している。

地域住民が主体的に介護予防や支え合い活動を推進するために、活動の担い手づくりが目的。

受講者には、知識を習得する基本編と技術を学ぶ実践編の計7回の講座が実施され、講座修了後は、市内で実施されているいきいきサロンのお



今回は、ボランティアセンターの理想と現実の差をどのように縮めていくか、意見を出した。

ボランティアを「したい人」「お願いしたい人」が気軽に立ち寄れる場や相談できる職員が配置されコーディネートしてくれる体制づくりが重要。ボランティアセンターが軸となることで情報発信や団体同士のつながりづくりができてくる等の意見が出た。

今後は、これらの意見をもとにボランティアセンターの体制整備を図っていく。

カナリア会 認知症研修会

8月28日、社会福祉協議会烏山支所で、市健康福祉課の岡保健師を講師に招き、認知



症予防研修会が開催され会員12人が参加した。

カナリア会は、烏山地区の1人暮らし高齢者同士で定期的に集い、出会いと交流を楽しむことを目的に実施している。

研修会では、認知症に関する講話と認知症の予防体操を行った。

会長の関根不二子さんは、「研修会を通し、外出や誰かと話す事が認知症の予防になる事がわかりました。これからも参加者が楽しめる活動を行い、健康寿命をのばせるように頑張ります」との感想があった。

カナリア会に興味がある・参加してみたいという方は、社会福祉協議会までお問い合わせください。

那須烏山市心身障害児者療育訓練



ひたち海浜公園

10月5日、6日の二日間にわたり、那須烏山市心身障害児者父母の会主催の療育訓練が開催され、会員22人が参加した。

この事業は、会員同士の親睦や普段外出が難しい会員へ外出の機会として実施している。

本年度は、茨城県ひたちなか市方面を訪れ、ひたち海浜公園のコキア鑑賞、大洗水族館の見学等を行った。

参加した会員は、「懇親会の時のカラオケが楽しかった」「遠出や宿泊の機会が少ないので、毎年楽しみに参加しています」等嬉しそうな顔で話していた。

**滝田本郷いきいきクラブ、栃木県老連スポーツ大会
グラウンド・ゴルフで優勝**



滝田本郷いきいきクラブの皆さんのプレー

ド・ゴルフの練習を行っていただきます。グラウンド・ゴルフは個人競技ですが、練習を通じて参加選手6名のレベルが高くなつたのが勝因だと思います。今後もグラウンド・ゴルフを通じて健康寿命を伸ばし、会員間の親睦を図り大会一連覇に向けて精進します」と話した。

10月10日、真岡市井頭公園で栃木県老連スポーツ大会が行われ、本市から出場したグラウンド・ゴルフ代表の滝田本郷いきいきクラブが参加28チームの頂点を極めて優勝した。

スコアは357打で、2位の矢板市富田シニアクラブとは11打差だった。

同クラブ監督の高徳宗光さんは「滝田本郷いきいきクラブでは毎週月、水、金の3回大桶運動公園で半日グラウン

ド・ゴルフの練習を行っていただきます。グラウンド・ゴルフは個人競技ですが、練習を通じて参加選手6名のレベルが高くなつたのが勝因だと思います。今後もグラウンド・ゴルフを通じて健康寿命を伸ばし、会員間の親睦を図り大会一連覇に向けて精進します」と話した。

10月22日には烏山庁舎に川俣純子市長を訪ねて優勝報告を行った。大会に夫婦で参加し、同じホールで夫婦でホールイワンを達成した話や監督が選手にプレッシャーを与えないよう和ませた話を聞き、市長は「私もグラウンド・ゴルフは大会の始球式で何度か挑戦していますが本当に難しい。その中で県大会で優勝し、那須烏山市の名前を県下に轟かせたことは本当に



川俣市長に報告

素晴らしいと思います」とチームを労った。

また、本大会には8月8日に行われた、那須烏山市シルバースポーツ大会のペタンクの部で優勝した南いきいきクラブ、輪投げで優勝した南大和いきいきクラブ、準優勝した下川井下いきいきクラブも参加した。



下川井下チーム

**横浜を
楽しんできました！**



カップヌードルミュージアムにて

9月21日、あすなる・すずらの利用者・保護者・職員計45人が横浜方面への日帰り研修を行った。

グループごとに分かれ、赤レンガ倉庫での昼食、カップヌードルミュージアムでの体験、買い物等を行った。

利用者は「味や具を選んでも、自分のカップヌードルを作れて嬉しかった。食べるのが楽しみです」「今までのカップラーメンが飾られていてすごかった」「赤レンガ倉庫にお店が沢山あっておしゃべりだった」等と話し、仲間との交流を図りながら、充実した一日を過ごした。

「ろう者の生活とろう文化」

―聴者とろう者の擦れ違いから―

ろう者の生活実情とは…？
耳が不自由なため、聴者の「あたりまえ」とは違った感性を持っていきます。そのためにおきるすれ違いや誤解等、私たちが理解しておくことは何かを一緒に考えましょう。

◇主催 手話サークル 紙ふうせん

◇後援 那須烏山市 社会福祉協議会

◇日時 平成30年 11月21日(水)

◇時間 午後7時～ 8時30分

(受付6時30分)

◇場所 社会福祉協議会 烏山支所2階会議室

◇講師 栃木県北地区 手話通訳派遣協会

◇申込み 大場 孝泰 氏 参加希望の方はご連絡ください。

◇問合せ 手話サークル 紙ふうせん(黒川)

☎090-5207-3826



ボランティアセンターだより

シリーズ ボランティアの達人 「月次カラオケ会」

9月7日、月次カラオケ会のメンバー4名がJAひまわりでボランティア活動を行った。

月次カラオケ会は、13年前に結成され、当初は愛好者のカラオケ教室として活動したが、3年前から市内の高齢者施設を中心に年間10回以上のボランティア活動を行っている。

同会の特徴は、通信カラオケ機・マイク・スタンド・スピーカー全てを施設に持ち込み、迫力ある高音質のサウンドを届けている。

この日は「高校三年生」「南部蝉しくれ」など10曲をメンバーが披露し大きな拍手と声援を受けていた。

同会代表の高野栄子さんは「利用者の皆様とのコミュニケーションを大切に、日常生活には無い時間を楽しんでいただけるように心がけています。これからも皆様に笑顔にする活動を続けていきたいと思っております」と話していた。



今月のごちそう さまでした!



烏山地区

メニュー (10月16日)

配食数70食

- ・煮物・焼き魚(塩さば)
- ・もやしとわかめのポン酢和え・みかん・小梅

ここでは、毎月配食サービスボランティアの皆様が作っているお弁当を紹介します。

ボランティア関係の情報がありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております!!

問合せ先 市社会福祉協議会 (ボランティア担当: 石井・大森・笠井) ☎ 88-7881

生活上の心配ごと相談 (時間9:00~12:00)

場 所	期 日
本 所 (田野倉)	11月28日 (水) (行政相談併催)
保健福祉センター ☎ 88-7881	12月12日 (水) (人権相談併催)
社協烏山支所 (初音)	11月21日 (水) (行政・人権相談併催)
☎ 84-1294	12月 5日 (水) (行政・人権相談併催)

協力事業所と受注作業 (9月分)

すずらん ☎ 88-0840		あすなる ☎ 82-3141	
丸星食品(株)	切干大根袋詰め	(有)大森紙器	箱折り
(株)シオダ	ピン取り出し・袋詰め他	エム・シー・アイ(株)	自動車部品選別等
(有)菊地製作所	スベア組み他	(有)坂本製作所(株)	自動車部品選別等
		(有)菊地製作所	ゴーグルケース等
		(有)宝積寺タクシー	箱折り等

寄 付 (敬称略)

9月15日~10月14日

社会福祉振興基金

烏山燦陶会・那須烏山商	47,414円
工会工業部会	
那須烏山そば組合	17,515円
古賀屋お客様一同	3,704円
風月カントリー倶楽部	117,000円

福祉サービス利用状況

(9月末現在)

介護保険サービス	
ホームヘルプサービス	119件
ケアプラン作成	213件
介護予防ケアプラン作成	43件
介護保険以外のサービス	
有償ホームヘルプ	25件
日常生活用具貸与	10件
障害者ホームヘルプ	10件
児童発達支援事業契約数	40件
放課後等デイサービス契約数	45件
障害児相談支援契約	104件
あすてらすサービス契約数	40件

アルミ缶 (単位:個) (9月15日~10月14日) 敬称略

すずらん ☎ 88-0840		あすなる ☎ 82-3141	
小池 恒夫	120	阿相 孝一	300
大野 伯恵	280	漆原 義孝	300
仲山 正夫	205	絵本喫茶ばたぼん	300
滝口 哲也	100	大谷 修一	150
K・かおる	150	大貫 保	80
岩間 泉	176	小野 幸夫	80
塩谷 とも子	600	小川床屋	430
露久保 章	500	榎カスヤモーターズ	230
露久保 英司	200	上境中組協力者	300
横山 寛美	200	金銀	450
横山 泰平	450	川上 泰夫	300
桑川 康志郎	220	小泉 徳男	450
野口 節	410	小口 義子	150
大森 金一	85	小林建設(株)	300
橘	700	小森 キヨ	400
斉藤 順子	1,000	坂田屋商店	320
塚原 喜一	400	JAなす南	60
室崎 福司	1,000	下境後石原協力者	750
志島上自治会有志	1,000	下境前石原協力者	150
JA女性会三箇支部	600	下境上自治会協力者	1,800
中山地区有志	2,000	下境西組協力者	960
ペット豊園那須烏山	108	小規模多機能ホームなごみ	450
(株)矢崎部品	1,152	高田 正一	380
(株)アヤラ産業	400	高橋 一夫	80
(株)東北化工	520	高橋 富次	60
大桶上自治会有志	300	高橋 任	530
匿名	200	滝 喜久子	300
		玉ちゃん餃子	1,200
		中央協力者	300
		束原 正記	150
		栃木県庁南那須庁舎	240
		仲野 研磨	150
		中村商店	80
		那須烏山商工会	300
		生魚商店	390
		成瀬 一郎	450
		根本 章	530
		蓮見自動車	230
		パチンコZAPP	640
		ファミリーレストラン笠井	80
		益子 豊	230
		みつちゃん	150
		(有)青木商会	450
		(有)大森紙器	360
		横山農機(有)	380
		和久 運	200
		和智 祐一	230

(合計 13,076個)

(合計 15,750個)



社会福祉協議会は、皆さんの「心」に支えられて活動しています。ご理解とご協力をお願いします。